

2025年9月30日

丹沢ボッカ駅伝競争大会に
関わっていただいた皆様へ

丹沢ボッカ駅伝競争大会

会長 吉田 征雄

実行委員長 新堀 昇



「丹沢ボッカ駅伝競争大会」の大会終了について

「丹沢ボッカ駅伝競争大会」は、1987年に開催された第1回大会を皮切りにコロナ禍を挟み今年(2025年)の37回大会までの間、約40年の長きにわたり大会を継続してきました。この間、多くの選手の皆さんのご参加、多くのボランティアの皆さんのご協力を賜り継続することができました。そして、神奈川県、秦野市及び地元大倉地区の皆さんの多大なるご支援、ご協力を賜ることもできました。

しかしここ数年、残念ながら大会スタッフの高齢化等に伴い長期間にわたる大会準備等に支障をきたす状況となってきました。特に中心となって関わる「役員会」を構成する「役員」には、同様な状況も含めて常にさまざまな業務での「内的(個人的)要因」、「外的(業務全般、安全対策等)要因」での負担が顕著であり、その負担に抗しきれない状況となってきました。この間、新陳代謝をはかるためのさまざまな方策を講じてまいりましたが、それらを思い通りに進めることができずに現在に至っています。

そこで37大会終了後、数回の「役員会」の開催を経て9月上旬に臨時実行委員会を開催し実行委員全員で現状を共有し、断腸の思いで「丹沢ボッカ駅伝競争大会」の大会終了を決断することとなりました。この間、大会を支えていただきました多くの皆様には心より感謝を申し上げます。

なお、丹沢ボッカ駅伝競争大会実行委員会は9月末日をもって解散をすることとなりました。

以上、ご報告をさせていただきます。